

横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

SAKURA

Since 2013



Vol.20
11・12月号

私は、「わたし」に会いにゆく。さくらプラザで、逢いましょう。



庚寅長月の会

同期の喜び！ 奇跡の真打五人会

== INDEX ==

Pick Up Artist

**柳家小せん
入船亭扇里**

さくらプラザ館長の『東へ西へ』

さくらプラザ自主事業レポート

夏休み こども食品サンプル ワークショップ

第4回 区民企画

さくらプラザアートバザール 2017 出演者募集

連載

戸塚出身！ソプラノ歌手 市原 愛の「歌の翼に」

出張！ THE LEAPS の行ったるチャン！

さくらプラザ User's Voice

男は背中で物語る 戸塚見返親仁

出張！ 戸塚新聞

11月5日 秋のさくらプラザ寄席に出演される横浜市ご出身のおふたりに、五人会の魅力や、くすっと笑える普段のご様子を伺いました。

—真打五人会ということですが、出演順など構成はお決まりですか？

柳家小せん(以下、小せん)：まあ、戸塚公演第一回目ですので、今回のトリは(戸塚区出身の)私で良いですか？

入船亭扇里(以下、扇里)：戸塚での公演はずつとトリをとつてください。

小せん：ずっとですか(笑)。

扇里：その代わり東神奈川や杉田方面の時は(栄区出身の)私がトリを……(笑)。

小せん：実は扇里師匠だけ少し先輩なのですが、真打になつたのが同じ時期なので対等な関係でやらせてもらっています。

でも今回は戸塚なので私が最後を取らさせていただきますね。その前の構成はまだ決め兼ねているんですよ。皆さんそれぞれタイプが違いますんで。

古典をがっちりやる人、新しいことでどんどんウケを誘う人など。配分をよく考えてこれから順番を決めていくかと思っています。

—演目は決まっていますか？

小せん：まだ決まっていません。前の人があんな話をしたか、お客さんはどのような感じなのかを当日の舞台袖で見ながら決めますね。

扇里：前の人があなたが何を話せるかは分からないんです。

小せん：同じ話は当然できないし、似たような話もできない。そのときのお客さんの反応も見て話を決めるんです。それと、持ち時間とも相談しないといけないですね。



柳家小せん

—この五人会の魅力とは？

小せん：本当にみんな色が違ってバラエティー豊かなので、新作をやる人もいれば、古典を現代風にしてやる人、がつかり芯の通った古典をやるタイプの人もいます。その場その場の様子を図って、「ここは自分がいく！」「ここは頼む！」という駆け引き・掛け合いのバランスっていうんですかねえ。その流れを楽しんでもらえたらいいのかなあ。

あとは、こんなメンバーですから、楽屋が和気あいあいとしている。その楽し気をまとったまま高座に出て、客席にも楽しさが伝わるかな(笑)。

扇里：ほんとに五人会の楽屋は楽しいね。

小せん：だいたい楽屋では上下関係が常にあって、気を遣うところだったりしますから。

—どなたが新作をされますか？

小せん：さく麿師匠です。だいたい新作ですね。ちょっと発想がぶっ飛んでる人なんで、現代を舞台にした不思議な面白い話です(笑)。

扇里：鬼丸が古典を改作した現代風アレンジを。あとは小せんさんが歌を……(笑)。

小せん：それは稀ですね(笑)。

—扇里師匠はどういう落語をされるのですか？

扇里：わたしは古典を淡々とやるだけです(笑)。

小せん：扇里師匠は柔らかいふわっとした感じが持ち味ですね。龍玉師匠はもうがつりと、骨太で古典らしい古典をやります。

扇里：我が道を行くスタイルですね。

小せん：自分が好きな落語をやって酒を飲めればいいや、みたいなね(笑)。

扇里：でも本当に龍玉師匠の芸は素晴らしい。ここまで当人が気持ちよく落語できるなんて羨ましいな、と思います。

—このメンバーの中でムードメーカーはどなたですか？

小せん：埼玉のラジオスター(鬼丸師匠)かなー。

扇里：そうですねえ。芸もそうですが、人も明るい！

不真面目なようで、すごい真面目な人なんだよね。

小せん：すごい考えて、考えて前に向かって行動を起こす人なんです、鬼丸師匠は。

あとは磨さん(きく麿師匠)かな！

扇里：全員がファンだよね(笑)。

—お話を聞いているだけで、本当に仲が良いのが伝わってきますね。

小せん：だから五人で会ができるのは楽しくてしょうがない。

扇里：喜びですね、本当に！

小せん：同窓会に出かけるみたいです。仕事なんですかね(笑)。

—真打五人会というのは珍しいですよね。

扇里：この五人で一緒に真打になれたのは奇跡だなと思っているんです。

—何故でしょうか？

扇里：真打になるのは入門順に序列なんですが、先に入つた人が辞めて行ったりすると、昇進するタイミングが変わりますね。正直、私が先に真打になる可能性がありました。

小せん：同期であっても人数的な問題で落とされることもありますね。この五人の中だったら一番下の僕が落とされてアシスタントになっていたかもしれない……。巡り合わせですね。

扇里：本当にそうですねえ。そして、この五人は奇跡的に仲が良かった(笑)！

小せん：五人以外の人がみんな仲が悪いっていうわけじゃないんだけどね(笑)。

大体、落語会を組むときにはベテランひとり、若手ひとりとかで、同じ世代でこう何人も組むことはそうないんですよ。だから一緒に仕事をすることもそうなかったりしたんです。ましてや真打のお披露目を一緒にやるとなると、考え方の違いやお金のつかいどころで揉めたりすることは良くある話なんです。そういうのはこの五人は全然なくて……(笑)。

扇里：みんな好きにやってますね(笑)。

—他に同期で落語会をされている方々はいらっしゃいますか？

扇里：同期でここまで真打が揃ってやっている会っていうのは聞いたことないですねえ。



入船亭扇里

小せん：五人の中で誰も欠けることなくここまでやってこれた、というのはそんなにないんじゃないかなあ。また、同期入門で仲の良い二人の会だと「扇辰・喬太郎の会」とか切磋琢磨しているのはいくつかあります。五人まで揃うのはないですね。五人もいれば大抵揉めますね(笑)。

—本当に真打が五人揃うというのは贅沢ですよね。今後もこの五人会は続けていかれるのですか？

小せん：出来る限り続けていきたいし、公演数も増やしていきたいですね。さくらプラザさんでやらせていただくなれば是非五人でやらせていただけたらと……(笑)。自分にはない面白さを持っている仲間がいて、「落語ってこんな楽しみ方もあるんだよ」っていうのを皆様に知つてもらえたら嬉しいです。

—ありがとうございました。

(取材・文：田中 啓介／石村 里美)



(写真左から)

柳家小せん

戸塚区出身。1997(平成9)年2月鈴々舎馬桜に入門。1997(平成9)年4月前座となる。前座名「わか馬」。2000(平成12)年6月二つ目昇進。2006(平成18)年1月鈴々舎馬風門下に移門。2010(平成22)年9月真打昇進「五代目・柳家小せん」を襲名。

蜃氣樓龍玉

1997(平成9)年五街道雲助に入門。2000(平成12)年二つ目昇進。2010(平成22)年真打昇進「三代目・蜃氣樓龍玉」を襲名。

三遊亭鬼丸

1997(平成9)年三遊亭圓歌に入門。2000(平成12)年二つ目昇進。2010(平成22)年真打昇進「鬼丸」を襲名。

林家きく麿

1996(平成8)年林家喜久蔵に入門。2000(平成12)年二つ目昇進。2010(平成22)年真打昇進。

入船亭扇里

栄区出身。1996(平成8)年入船亭扇橋に入門。2000(平成12)年二つ目昇進。2010(平成22)年真打昇進。



画 斎藤真紀

人は、古い話ほどよく覚えている。遠い昔の話をまるで昨日のことのように話したりする。それでいて、昨日の夕飯が思い出せなかつたりもする。

たとえば、いつも通っている道の途中に、ある朝突然空き地ができている。まるで昔っからずっと空き地でしたとでも言うように、動かしがたい存在感でぽつかりと空間が広がっている。いやいやいや、でも、こないだまでは確かに空き地なんかじゃなくて何かあったはずだとは分かっているのに、さて、そこにどんな建物が建っていたかというとなかなか思い出せない。

空き地になってしまふと、それまで何があったか思い出せないことが多い。どんなお店だったか、どんな家だったか、ぱっと出てこないことがある。

では逆に何もなかったところに建物ができたなら、それまでの空き地を思い出せなくなるのだろうか? 建物が建つ前の風景を思い出せなくなるのだろうか?

空き地や森や畠だった場所に新しく何かが出来た場合は、わりとそれ以前の様子を覚えている気がする。木々が切り倒され、森が失われ、山が削られて、そこに新しい町ができようとも、人は意外とその前の景色を覚えているものだ。

緑の森を、赤茶色の山肌を、そして開発によって日々変わりゆく景色を結構覚えているものだと思う。家や店が無くなった時には、全く思い出せないのにもかかわらず。

私も、環状2号が通る前のこの町を、いや、あの山を、あの森を覚えている。未舗装の道の奥の原野のような森に一度だけ行ったことがある。そこがどこだったかは思い出せないけれど、その時の景色をはっきりと覚えている。

それがいまこの街のどの辺りになるのかは分からない。その場所に立ってみたいと思ったところで、全く見当もつかない。

ただ、懐かしさのやり場もないまま、移りゆく街を見下ろしている。



①東戸塚駅東側「ニューシティ東戸塚」／撮影日：1985年3月4日



②東戸塚駅西口／撮影日：1987年9月

③東戸塚駅西側／撮影日：1985年3月4日

④東戸塚駅西口／撮影日：2016年9月12日

⑤東戸塚駅西側／撮影日：2016年9月9日

古い写真①～③は「戸塚区ホームページ／区政推進課 とつかフォトコレクション」より
<http://www.city.yokohama.lg.jp/totsuka/kusei/photo-collection/>



今月のおすすめ☆
イス工房メーリアのジェラート
「イチゴ」と「塩」のダブル※
410(税込)
ジェラートの種類は、時期によって
違います。



アイス工房メーリア 外観と店内



東戸塚駅西口郵便局前の坂を横須賀線の線路に向かって下りていくと、ほどなくして牛の匂いが漂い始める。肥田牧場の牛舎が近いことが分かる。続いて、道路脇の森から樹液や下草の臭いがひんやりとした風と共に吹き降ろしてくる。横須賀線の高架橋を渡ると、肥田牧場が運営するアイス工房メーリアの茶色い屋根が見えた。

メーリアで、「浜なし」と「塩」のジェラートを食べる。梨の独特的の香りとかすかな酸味、塩キャラメルのように濃厚な甘さと塩味のバランスが歩き疲れた体にしみこんでいく。クーラーの効いた店内であつという間に平らげてしまった。

斎藤 真紀 プロフィール

1964年川崎市に生まれる。1990年和光大学を卒業。横浜市鶴見区在住。

平面、立体を問わず制作を行い…その為、「専門は?」と問われるのが一番の弱み。近年は、美術の楽しさを広める活動にも力を入れている。



夏休み こども食品サンプルワークショップ

アツアツ!? たこやき&やきそばセット

2016年8月18日(木)開催
リハーサル室

当初は1クラスの予定でしたが、予約開始早々に満席となってしまい、急遽2クラスに増設。
ワイワイにぎやかなワークショップとなりました。

美味しそうなたこやきとやきそばは、どのように作られたのか？ レポートします！



講師は笑顔がすてきな鈴木 ゆきこ先生です。
アシスタントには丸井和恵先生が来てくださいました。



小学校低学年のお子さまには、保護者の方に手伝ってもらい作業をしました。中には、お子さまよりも夢中になってしまうお母さん・お父さんも……!?



たこやきのもととなる2種の樹脂液を、よく混ぜあわせてからシリコン型に注ぎます。

この型は“本物のたこやき”を使って作っているそう！



あっという間に固りました！
後ろから押し出して取り出します。
つぶれないよううまく出てくるかな？ ドキドキの瞬間！



コロンと丸いたこやきのできあがり！
少しずつ色が異なるのは、樹脂液を混ぜる時に黄色い顔料を加えたからなのです。



こちらは先生が作った見本です。
マヨネーズのかけ方など、マネしたいポイントがたくさんあります！ うーん、美味しいそう……。



色を塗っていきます。みんな真剣！
やきそばの麺は先生が途中まで作ってくれました。
よりやきそばらしくなるように、その麺にも色を塗ります。



「色が濃いから、たこやきじゃなくてミートボールみたいになっちゃった～！」と、思わずみんなに笑みがこぼれます。



最後は舟形に盛り付け。マヨネーズのかけ方にこだわります。



完成！

青のり・かつおぶしを散らせば完成です！
「今日の夕飯はたこやきとやきそばがいい！」とおねだりする声が、あちらこちらで聞こえました(笑)



黄色かったたこやきが茶色を塗ることで、どんどんたこやきらしく見えてきました。



色を塗ったら、先生がバーナーで焼き色をつけます。
あつという間にこんがり！



なかには「失敗しちゃった……。」と落ち込む女の子も。
大丈夫！ ちゃんと美味しいよ～！

※アンケートより抜粋

参加者からの感想

●作品の完成度の高さに親子共々感激し、こどもはうれしさのあまり近所にまで作品を持って自慢げに見せておりました。先生方の以外にもスタッフの皆様が見ていてくださったことで怪我も喧嘩もなく無事に終わらせることができ、親として本当に有難い環境でよい経験をさせてあげられたな～と思いました。

●当日は、こどものリクエストどおりやきそば＆たこやきの夕御飯となりました。“今度はあれが作りたいなー”と、すっかりサンプル作りが好きになったようです。

ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました！
さくらプラザでは今後も、楽しいワークショップを企画してまいります♪

第4回 区民企画 事業

2017年1月～2月開催予定

区民によるさまざまなジャンルの文化芸術活動を募集し、
地域の賑わいに務める「区民企画事業」。
毎年1月中旬から2月中旬までの間、開催しています。

4回目となる今年! 参加される個人・団体を紹介します。
ホールでは、吹奏楽・オペラそして箏の響き。
ギャラリーでは、平面アート・絵画・彫刻そして写真まで…
ぜひこの機会にお楽しみください。
皆さまのご来場をお待ちしています!

さくらプラザホール (4F)



ブリティッシュプラス ラヴィアンローズ
「バレンタインコンサート2017」

2017年1月28日（土）14:00 開演

ブリティッシュプラス ラヴィアンローズによるバレンタインに
ちなんだプログラムのコンサートです。
今回はバスクラリネットアンサンブル「ラス・クラリネーテス」
さんにゲスト出演していただきます。

曲目 学園天国、いつでも夢を、花は咲く 他

チケット代 無料



田口箏曲教室『～箏曲のひととき～』

2017年2月5日（日）13:00 開演

響きの良いホールで多くの区民の方に聴いていただきたく応募しました。
古典定番曲～昭和～平成とバラエティーにとんだ選曲です。懐かしく雅びな箏の調べをお楽しみください。

曲目 春の宴、若草、千鳥の曲 他

チケット代 無料

天野聰絵『ボクらのミュージカル私のオペラ』

2017年1月29日（日）13:30 開演

藝大大学院時代より数々の受賞経験がある天野聰絵は、本場
欧洲仕込みの重厚な歌い方に加え、天性の艶やかなソプラノ・
リリコレッジの声質の持ち主。戸塚が生んだディーバの迫力
ある歌唱を、どうぞ堪能ください。

曲目 魔王、誰も寝てはならぬ、エーデルワイス他 全16曲
★視聴・フェイスブック「Ex Pna」で検索

チケット代 一般 3,300円（当日 4,000円）
高校生以下 2,200円（当日 2,500円）



磯野 悅郎

『いのちと宇宙の神秘—磯野悦郎・中川正夫展—』

2017年1月25日（水）～1月30日（月）
10:30～17:00（最終日のみ 15:00まで）

3.11そして熊本地震。直接の物理損害とは無縁の者にとっても、
地球といのちを考える好機。
生きる姿を思い描き、そして深めることに繋ながるのでは。
アートに立ち現れるものを探して。

展示内容 平面アート・立体 & 複合

入場料 無料



フォト夢とつか『みんなの写真展』

2017年2月7日（火）～2月13日（月）
10:00～17:00（最終日 15:00まで）

皆様の撮られた写真を「さくらプラザギャラリー」に展示して
みませんか。

自由作品・組写真と新たにスマホで撮影した作品も募集します。
皆様の作品をお待ちしています。詳細はチラシをご覧ください。

展示内容 写真

入場料 無料

さくらプラザギャラリー (3F)



神奈川県立上矢部高等学校

「平成28年度 神奈川県立上矢部高校 32期美術陶芸コース 卒業制作展」

2017年1月31日（火）～2月5日（日）

10:00～17:00（初日 13:00から、最終日は16:00まで）

上矢部高校美術陶芸コースの3年生38名が、高校での学習の
集大成として制作した絵画、彫刻、工芸、映像などの作品を
展示します。

展示内容 「卒業制作」の授業で制作した美術作品の展示

入場料 無料



戸塚区民文化センター
さくらプラザ

参加団体
募集!

アートバザール 2017

さくらプラザ利用団体・アーティスト・区民…

新たな出会いが生まれる3日間!

さくらプラザで行われている様々な活動を紹介し、
利用者・アーティスト・区民の文化的交流の場を創出するためのイベントです。
昨年度は2日間で、延べ1,600名のお客様にご来場いただきました。



団体・サークルの活動を
さくらプラザで
紹介しませんか?

2017年 3月3日・4日・5日

入場無料
ギャラリー 3日(金)・4日(土)10:00～17:00
5日(日)10:00～16:00
ホール 5日(日)14:00～16:00(開場 13:30)

申込から当日までのスケジュール

ホール(舞台)

ギャラリー(展示)

11月

申込締切 2016年11月15日(火)必着

12月

出演団体決定・結果通知 12月初旬までに郵送

1月
～
2月

チラシ校正 1月上旬
チラシ完成 1月下旬

*申込書ご記入の情報をもとに作成いたします。
校正是ご郵送もしくはFAXでお送りいたします。

公演内容打合せ 1月下旬～2月初旬
※ご来館もしくはお電話にて

レイアウト打合せ 1月下旬～2月初旬
※ご来館もしくはお電話にて

3月

リハーサル 3月4日(土)

本番 3月5日(日)14:00～16:00

搬入・展示 3月1日(水)
もしくは3月2日(木)

展示期間 3月3日(金)10:00～17:00
3月4日(土)10:00～17:00
3月5日(日)10:00～16:00

片付け・搬出 3月5日(日)16:00～

ホール(舞台)募集要項

【募集ジャンル】ピアノ、弦楽器、管楽器

(出演者は1団体10名程度まで)

【応募資格】横浜を拠点として活動を行っている
個人・団体

【募集団体数】8団体

【参加費】1団体 3,000円



*詳しくは、募集チラシもしくはさくらプラザホームページをご確認ください。
(申込用紙はホームページからもダウンロードいただけます。)

ギャラリー(展示)募集要項

【募集ジャンル】絵画、写真、書道、手工芸など

ジャンルは問いません。

※ダンスや合唱などの活動紹介も可能ですが、実演はできません。

※ワークショップ開催および作品販売も可能ですが、事前に申請書を提出いただき内容を審査します。

【応募資格】横浜を拠点として活動を行っている
個人・団体

【募集団体数】12団体

【参加費】1,000円／1,500円

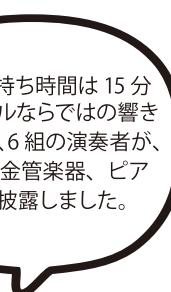
※ブース毎に異なります。詳しくは募集チラシをご覧ください。



昨年度アートバザール2016当日の様子



さくらプラザ「地産地消
マルシェ」開店!
旬の新鮮野菜や果物をはじめ、農産加工品、アイス
クリームを販売しました。



*ホール、ギャラリーともに入場無料！ どなたでも自由にご覧いただけます。
*タイムテーブルは1月下旬に決定します。

戸塚出身!
ソプラノ歌手・市原愛の連載コラム

歌の翼に

Vol.4

ドイツ歌曲を本場で学ぶために留学したミュンヘン……。そこでは約8年ほど過ごしました。
人気の街でしたので家賃や物価はそれなりに高く、明治安田生命、文化庁、ロームミュージックファンデーションなど、たくさんの奨学金制度からサポートをして頂けたことには、今でも感謝が尽きません。
東京藝術大学を卒業してすぐに渡航しましたので、特に貯金があった訳でもなく、当初“留学はとにかく奨学金が頂ける間だけ”と決めていました。それを、少しづつ少しづつ、帰国のタイミングを延ばせた理由として、最終的にはアウグスブルク歌劇場と専属契約をした事もありますが、前述の奨学金に加えて、留学開始早々から徐々に増えていった演奏会での出演料と、コンクールの賞金が、経済的に大きな支えとなっていました。

コンクールは(特に欧州のものは)まさに「水もの」!!

とあるコンクールで予選落ちした歌手が、他のコンクールでは第1位だったり……。そのコンクールの特徴、会場との相性、審査員の顔ぶれetc.受ける前に色々と考え、作戦を練る必要がありました。上手くいけば、もちろんその後のキャリアに繋がる大きなチャンスの1つとなるでしょうが、失敗すれば、交通費、宿泊費、ピアニストへの謝礼、それまでに費やしたレッスン代など、結構大きな出費になりますからね。

海外のコンクールでの入賞は、大きな転機をもたらす場合も多いのですが、日本国内のコンクールでは、なかなかその後の演奏活動までは繋がりにくい様を感じます。というか、受ける側のスタンスとしてもそこはやはり学歴社会……。履歴書にひとつでも多くの資格が書いてあると良いのと似た感覚…といった所でしょうか？

恩師である児島百代先生に言われるがまま……ではありました。私が歌のコンクールに挑戦し始めたのは、北鎌倉女子学園高等学校2年生の時。群馬県高崎市で行われた「高校生のための国際音楽コンクール」でいきなり第3位を受賞しました。(現在、ニューヨークのメトロポリタン歌劇場を中心で活躍しているソプラノ、ダニエル・ドゥ・ニースさんが第2位!)このコンクールの入賞者は、翌年に東京や京都での演奏会に出演することができましたし、コンクールの様子を含めて、そのコンサートもたくさんのメディアに取り上げられる程でしたので、なんというか……注目される快感(?!のようなものをそこで覚えた気がします。

コンクールは優劣の決められてしまう厳しい場ではあります。私の中に残ったコンクール自体への印象が良かったこともあり、その後もたくさんのコンクールに挑戦していくことになります。(当時は学外での活動に厳しかった我が母校が、見守るような形で応援してくれたことも有難かったです……!)

市原 愛



市原 愛 Ai Ichihara

東京藝術大学を経て、ミュンヘン国立音楽大学大学院に学び、その後ミュンヘンのプリンツレゲンテン劇場、バイロイトの辺境伯歌劇場、バーデン州立歌劇場、アウグスブルクのゲッギングン・クラハウス劇場、アウグスブルク歌劇場(専属ソロ歌手)、ハンブルガー・カメラータ、ミュンヘン放送管弦楽団に客演。国内では、読売日響、都響等との共演やリサイタルなどで活躍。2013年12月のトリノ 王立歌劇場日本公演ではヴェルディ「仮面舞踏会」でオスカル役に、2015年2月~4月には錦織健プロデュース・オペラVol.6「後宮からの逃走(モーツアルト)」の全国ツアーでブロンデ役に起用され、その歌唱力と演技で聴衆を魅了した。

2015年10月にファーストアルバム「歌の翼に」(オクタヴィアレコード)をリリース。

■オフィシャル・ホームページ <http://www.aiichihara.com/>



1時間の番組で、様々な出来事がたくさん!

ある意味打ち合わせ通りだけ……打ち合わせ通りじゃないんです!

何が起こるか分からない! そこが生放送の醍醐味♪

「エフエム戸塚」だからこそ話せるリープス流の地元トークもたくさん♪

大好きな戸塚の事を思う存分……しゃべります!

戸塚の大好きな街並みが舞台の楽曲「SAKURA」もオンエアしてもらいました◎

もちろんこの連載、行ったるチャンの宣伝もしました!

(さくらプラザの館長さん聞いてたかな♪笑)



トークも終盤に差しかかり、リスナーさんからのメッセージで「うちの地元にもリープスに演奏しに来て欲しい!」との声が☆

「呼ぶのは高いですか?」なんて声も(笑) まさかまさか!

「お財布にとても優しいバンド! フットワークが軽いのでいつでもOK!!」、ということでたくさんのオファーお待ちしております♡

ご近所から海外まで! THE LEAPSはどこでも行ったるチャン!

番組終了後に大ちゃん・歌さん・レギュラー出演されているアップル戸塚店のひろ君と記念撮影♪たくさん喋った、喋った!!笑った!!



番組を通してコミュニティFMだからこそ「暖かさ」をたくさん感じることができたふたり。ファンタスティックなRADIO局、エフエム戸塚は83.7MHzにアンテナを合わせてね!

いつか、リープスちゃんもラジオ冠番組……出来たらいいなあ~♡

さあ、次回はどこへ行ったるチャン!?

2016年の連載はこれにて終了!

2017年も「出張!THE LEAPSの行ったるチャン」を宜しくお願い致します☆

THE LEAPS(ザ・リープス)

横浜市戸塚区出身。幼なじみ同士のGt&Vo.MAYOUとDr&Vo.NANA-Aからなる2ピースバンド。2ndアルバム「ツーピース!」がライブ会場、オフィシャル通販にて絶賛発売中。11月3日(祝・木)には戸塚区民まつり「ふれあい区民ステージ」に登場します! ■オフィシャルホームページ <http://theleaps.net>



出張!THE LEAPSの行ったるチャン。なんと今月号で連載・満2周年を迎えました!
ここまで続くと誰も思わなかつた!(リープス談)まだまだ続くよ(続けたい)
自称・ご長寿連載行つたるチャン!
感謝感激の連載12回目は初めての東戸塚方面へと足を運びます☆



さくらプラザ ユーザーズ・ヴォイス USER'S VOICE

さくらプラザをご利用いただいている団体の方の声を毎号お届けするコーナーです。

Vol.9
横浜Fun☆Key Singers



ライブの様子

QUESTION

1. どんな活動をしている団体ですか?

横浜を拠点(Key)に、ライブ活動をするゴスペル・クワイアです。楽しい(Fun)が合言葉! カラフルシャツに会いに来てください!

2. どんな方が参加していますか?

それぞれの場所でゴスペルに向き合ってきたメンバーが、導かれるようにディレクター愛ミチコの元に集まりました。

3. 活動のモットーを教えてください。

"Fun & Fun & Fun"
私たちのゴスペルを聴いてくださるすべての方にSmileを届けたい!

4. さくらプラザを選んだ理由、おすすめポイントを教えてください。

光がたくさん入って明るく、メンバーのアクセスもよく、駅から近いということで選びました。
それに加え、スタッフの方たちのいつもにこやかな対応に気持ちよく使わせていただいているです。



練習室2にて

横浜Fun☆Key Singersさんの情報はFacebookでチェック!
次のライブは12月を予定しているそうですよ♪ <https://www.facebook.com/FunkeySingers7/>

男は背中で物語る トツカミカエリオヤジ 戸塚見返親仁

商店のご主人など、戸塚区内で働いている
オヤジ世代をご紹介するコーナーです。

其の二十一

戸塚駅東口すぐのところにある戸塚唯一の
銭湯「矢部の湯」。営業時間前のお忙しい
時間にお邪魔させていただきました!

昭和の時代にタイムス
リップ♪

夜の11時まで営業していまして、その後に、片付けをします。鏡や床を磨いたりタオルを洗ったり…いろいろあるんですよ。そうすると、寝るのは毎日朝の4時くらい。夜が明けてから寝ています。

一本当にお疲れさまです。これからも身体に気をつけて矢部の湯を続けてください!

ありがとうございました。

—いつ頃から営業されているのですか?

昭和12年に、祖父がこの地で営業開始しました。その時代から矢部町という地名がありまして「矢部の湯」と名付けました。今の建物になったのは、昭和35年です。

—煙突があるということは、薪でお湯を焚いているのですか?

そうです。薪湯ですね。毎日、汗だくになりながら焚いています。ただ、お湯はいくらもあるので、汗いたらすぐシャワーできるよ(笑)

—ちょうどお湯が沸いた時間ですが、毎日どのようなスケジュールですか?

9時に起床をして、まずは窓の掃除。そして燃料の出し入れをして、焚き付けをします。番台は、私と家内と、家の妹さんの3名です。

前号の後ろ姿は…

「矢部の湯」の江尻 栄一郎です!



親には逢いに行こう!

矢部の湯
横浜市戸塚区矢部町4
TEL:045-881-6954
営業時間:14:00~23:00
定休日:月曜日

ありがとうございました。

次号の親仁は…?



シュシュミュージック
shuShuMusic

近日開催

『シュシュのクリスマスワークショップ in さくらプラザ』
2016年11月27日(日)

[午前の部] 10:00 ~ 11:30 / [午後の部] 15:25 ~ 16:35



午前の部 制作作品



午後の部 制作作品

手作りのクリスマスグッズを制作し、その作品でリトミックを楽しむスペシャル企画です! 小さなお子様はもちろん、大人のみのお客様も大歓迎です。

ワークショップのお申込は、チラシおよび ShuShuMusic Facebook ページをご覧ください。

URL: <https://www.facebook.com/shushumusic/>

【お問合せ】

メール: shushumusic@outlook.com

電話: 045-392-9276

戸塚区を拠点に活動を開始し、今年で4年目を迎えた ShuShuMusic。歌とリトミックを中心く聞いて・見て・体感する>をコンセプトに、0歳のお子さんから子育て世代のご家族に、心も体も楽しんでいただける音楽を提供してきました。

次回公演はさくらプラザで開催します。ぜひご覧ください!

次回公演決定!

『シュシュと楽しもう♪歌とリトミックコンサート Vol.6』
2017年3月26日(日)開催(共催: さくらプラザ)



Vol.5 公演風景

▶ShuShuKids プロジェクトスタート! Vol.6 公演に出演します!

こどもたちがより音楽と関わりを深く、継続的に親しみ、経験できる場として設立します。定期的な稽古に参加し公演に出演、音楽を通して、人前で表現するというとても貴重な経験ができます。客席を飛び越えて舞台に立ち、歌って踊ってリトミックしましょう!

ShuShuMusic はこれからも素敵な音楽、綺麗な響き、生の音、楽しいリズムを大切にしたプログラムを提供していきます。日常では味わうことのできない空間で、美しい音をぜひご体感ください。

ShuShuMusic 一同

TOTSUKA JOURNAL



今回取材したお店

Family Style

戸塚上矢部町1808-1
ファミリーヴィレッジ1F-A
TEL:045-443-6190

出張! 戸塚新聞

webマガジン「戸塚新聞」の出張版。戸塚区のディープな情報を鋭意取材中! 詳しくは「戸塚新聞」で検索!

#05 服 戸塚発!セレクトショップ 「Family Style」

上矢部町のファミリーヴィレッジを訪問しました。今回のご紹介はその中の店舗のひとつ、Family Style (ファミリースタイル)です。イギリスを中心としたヨーロッパの服飾品、家具、雑貨などライフスタイルが詰まった厳選アイテムが並ぶセレクトショップ☆

意外や意外。こんな戸塚の片田舎に(失礼!)オサレーなSHOPがあるんですね。
SALE!?セール!?安売り!?
期間はいつまで?(笑)

ご安心ください。割といつでもやってるようなので。店の前にワゴンが置いてあると庶民には入りやすいですし、ね。近所のオバちゃんが気おくれもせず堂々と来店する、親しみやすいお店。

オーナーの相澤さんは、ファッション・服飾の専門学校を卒業したあと、アパレルメーカーに就職。オリジナル品やアメリカ古着を中心にして仕事の経験を積んで原宿の店舗を任せられていったが、自分の好きなモノを取り扱いたいという気持ちが強まり、独

立して10年間自分のお店を構えていました。戸塚では洋服を買える店が少ない、ファッションを通して地元を活気づけたい、という意識がめばえ、戸塚に戻ってきてファミリーヴィレッジを作りあげ、店舗のひとつとして Family Style (ファミリースタイル)を OPENさせました。年に数回イギリスに買い付けに出かけるそうです。

続きを読むwebで...

戸塚新聞 Family Style

検索

Information 「戸塚新聞」とは

戸塚区の情報満載のWebマガジン。知っているようで知らない「戸塚」の魅力的な情報を発信。戸塚新聞のすべての記事を読みたい人は「戸塚新聞」で検索!

戸塚新聞

検索





さくらプラザコンサートスケジュール

隔月、金曜夜8時、ベートーヴェンのピアノの調べに酔いしれる。

若林 頸セルフプロデュース ベートーヴェンピアノ・ソナタ 全32曲

各公演ともに全席指定 前売 2,000円／当日 1,500円

学生 1,000円

Vol.16 11/11(金)

Vol.17 1/13(金)

Vol.18 3/17(金)*

各回20:00開演

*…アンコール公演

3年目を迎えた「ベートーヴェンピアノ・ソナタ全32曲」シリーズの中で、好評を博した曲を再び演奏します。



秋のさくらプラザ寄席 第1回

かのえとらながつき

五人の真打による庚寅長月の会・戸塚公演

柳家小せん、蜃氣楼龍玉、三遊亭鬼丸、
林家きく磨、入船亭扇里

11/5(土) 14:00

全席指定 一般 2,500円

市民 2,000円



ピアノグランプリ受賞記念演奏会

～さくらプラザ・サポートアーティストとともに～

2016年3月20日に行われた「ピアノグランプリ2016」の

受賞者(村瀬 豊江、植松 洋史、

ピアノデュオFF)、

さくらプラザサポートアーティスト

(早瀬 綾香/Vn、大澤 理菜子/Vn、

樹神 有紀/Vla)

※賛助出演 田辺 純一(Vc)

2017.1/22(日) 14:00

全席指定 1,000円



前橋汀子プロデュース Vol.7 ヴァイオリン 珠玉の名曲集3

前橋 汀子(ヴァイオリン)、松本 和将(ピアノ)

2017.4/15(土) 14:00

全席指定 戸塚区民 3,000円／一般 3,500円

抽選申込受付中

※申込み多数の場合は抽選となります。

締切:12月27日(火)必着

官製はがき・応募用紙・HPの応募フォーム

いずれかの方法にて申込み



クリスマスツリー点灯式
オルガンミニコンサートとともに

川越 南美(オルガン)

11/11(金) 18:15(約20分間)

ホールエントランス ステンドグラス前にて／観覧無料



掲載された方には、お好きなさくらプラザ主催公演チケット*をプレゼント！

*ご要望に沿えない場合もございます。あらかじめご了承ください。

●氏名 ●掲載用ベンネーム ●ご住所●お電話番号を必ず記載の上、郵送もしくはメールにてお送りください。

※ご記入いただいた個人情報は、当コーナーの目的以外には使用いたしません。※200文字程度におまとめください。

※誌面の都合上、原稿を一部修正させていただくことがございます。

チケットはお電話 (045-866-2501) でご予約いただけます。(一部除外あり)
詳細はチラシをご覧ください。出演者・曲目などは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※学生券をお買い求めの際は学生証を必ずご提示ください。

名ヴァイオリニスト鈴木理恵子がお届けする、極上の室内楽シリーズ

鈴木理恵子 室内楽シリーズVol.5

ヴァイオリンとチェンバロの調べ

～王宮の響き～



鈴木 理恵子(Vn)

曾根 麻矢子(Cemb)

12/10(土) 14:00

全席指定 一般 3,000円

ペアチケット 5,000円



新春さくらプラザ寄席

「泣く落語」～其の四 八五郎出世～



橋家文蔵、入船亭扇辰、柳家小せん、
春風亭朝也、翁家和助

2017.1/12(木) 14:00

全席指定 一般 2,500円／市民 2,000円



最高にハッピーなアーリークリスマス！

名曲サロン Vol.4 「ゴスペル・イン・クリスマス」



Sing for life choir 戸塚

11/19(土) [第1回] 11:30／[第2回] 14:30

全席自由 500円

会場:さくらプラザ リハーサル室

*第1回 (11:30開演) は未就学児入場可
(0～3歳児はひざ上で鑑賞の場合のみ無料)



30歳以上限定のピアノオーディション開催！

ピアノグランプリ2017



参加料 予選:無料／本選:5,000円

開催日程 本選2017年1月28日(土)※非公開

本選会場 岩崎博物館(ゲーテ座ホール)

賞与 【グランプリ】賞金40万円

【優秀賞】賞金10万円

受賞記念リサイタルへの出演

応募締切 11月30日(水)必着



*詳細はチラシもしくはホームページをご覧ください。

クリスマスツリー点灯式

オルガンミニコンサートとともに

川越 南美(オルガン)

11/11(金) 18:15(約20分間)

ホールエントランス ステンドグラス前にて／観覧無料



戸塚区民文化センター さくらプラザ

TEL: 045-866-2501 FAX: 045-866-2502

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17 戸塚区総合庁舎 4F

<http://www.totsuka.hall-info.jp>

event@totsuka.hall-info.jp

編集後記 11月11日(金)にクリスマスツリー点灯式を行います！今年はオルガンの生演奏付き♪無料ですのでぜひご家族で遊びに来てくださいね。(桑田)



Vol.20

11・12月号

2016.11.1発行